

The Tokyo Civet Times

東京ハクビシンタイムズ

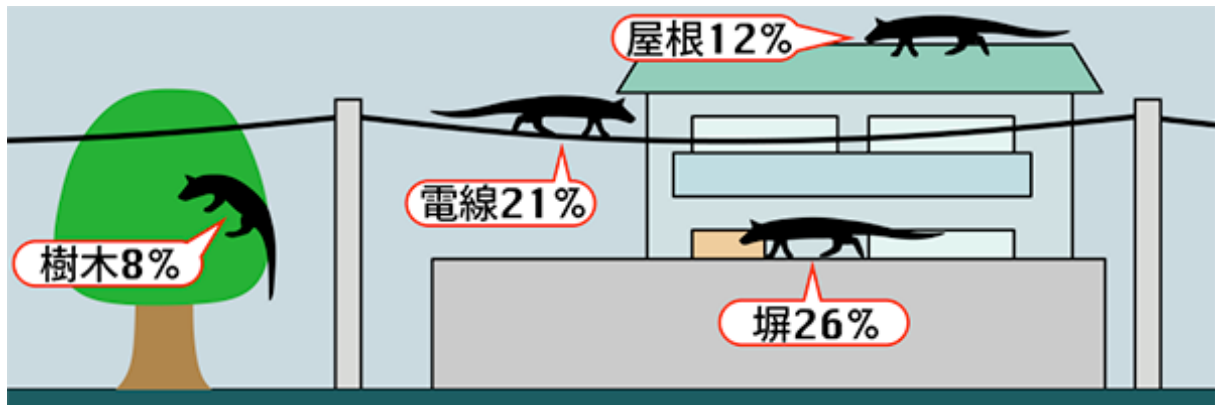
2013年4月号 通巻52号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2013

責任編集：宮本拓海 発行：東京ハクビシン探検隊！tokyotanuki.jp

ハクビシンを発見する方法

ハクビシンはどこに現れやすいのか？



ハクビシンが目撃された場所(重複有り)。

東京タヌキ探検隊！にはハクビシンの目撃情報が多数寄せられていますが、私、宮本自身はまだ野生のハクビシンを見たことがありません。どうすれば東京都23区でハクビシンを目撃することができるのか、考えてみました。

統計的にわかること

まずはハクビシンが多く生息する場所を調べなければなりません。目撃情報を集計すると、面積当たりの目撃件数が多いのは、新宿区、豊島区、中野区がトップ3です。さらに言うと、ビル街よりも住宅地の方が目撃確率は高くなります。

次はハクビシンが現れる時刻です。ハクビシンは夜行性です。日没後から日出までの時間帯によく目撃されています。

ハクビシンが目撃される場所をもう少し詳しくみてみましょう。2010～2012年の目撃情報623件を集計すると、道路337件、民家210件、企業・法人24件、公園16件、

学校(教育施設)7件、寺・神社4件となっています。さらに特殊な場所について別に集計すると、塀・フェンスの上は161件、電線・電柱は133件、屋根・屋上・ベランダは74件、樹上は52件といった数字が得られます(重複有り。上図では%に換算)。こういった高所にも注目することでさらに目撃確率を高くすることができます。

ただし、路上・地面にハクビシンがいる確率が最も高いということを忘れてはいけません。実は路上・地面は集計していないため正確な数字がすぐには出せないのですが、約50%は路上・地面での目撃となるようです。優先して観察すべきは路上・地面なのです。

以上をまとめると、こうなります。ハクビシンを目撃したいならば、新宿区、豊島区、中野区の住宅街に引っ越します。そして日が暮れたら外出し、夜の間はずっと住宅街を歩き回ります。常に路上のあやしい動物には注意してください。さらに、時々塀の上や電線を見上げてい

ると目撃確率を高めることができます。これらを実行すればハクビシンを高確率で目撃できるはずなのです！(注：今号は4月1日企画です。この結論はウソではありませんが、目撃できなくても文句は言わないでください。)

待ち伏せ観察法も

ハクビシンを歩いて探すのではなく、待ち伏せる方法もあります。ハクビシンは果実が大好きです。柿やビワなどの果実が成る季節に、それを食べに来るであろうハクビシンを毎晩じっと待ちかまえるという方法です。庭に果樹があるなら室内でゆっくりと待っていればいいのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>